

「本店代替防災施設」の概要

1．設置の目的

大規模直下型地震等により、本店に常設している非常災害対策本部、電力需給のコントロールを行う中央給電指令所、通信ネットワークの監視・運用を行う中央通信所の機能が維持できなくなった場合に備え、それぞれの機能を代替できる本店代替防災施設を確保すること。

2．施設の概要

(1)所在地 立川市

(2)敷地面積 約 4,000 m²

(3)構造

地下：鉄筋コンクリート造

地上：鉄骨造

(4)階数

地上 7 階・地下 2 階、延べ床面積約 1 万 5,000m²

(5)工期

平成 14 年 1 月 18 日 建物着工

平成 15 年 8 月 18 日 建物竣工

平成 15 年 12 月 12 日 運用開始予定（中央給電指令所代替施設は平成 17 年運用開始予定）

(6)代替機能

- ・ 非常災害対策本店本部代替施設：情報収集や発信、復旧活動の統括・指揮の拠点となる機能
- ・ 中央給電指令所代替施設：電力需給のコントロール機能
- ・ 中央通信所代替施設：電力通信ネットワークの監視・運用機能



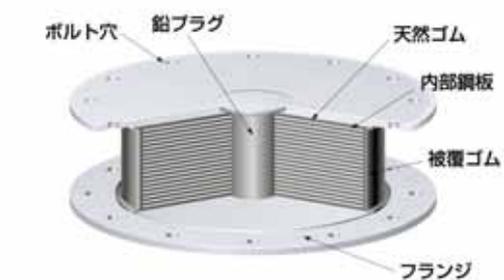
非常災害対策本店本部代替施設

3. 免震工法

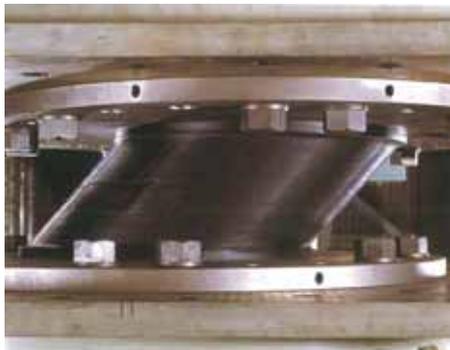
- ・ 建物は建物下部に積層ゴムを入れた免震工法を採用。1階フロアと地下フロアとの間に空間を設け、主要な柱に積層ゴムなどの免震部材を36箇所設置。
- ・ 平成15年8月に内閣府地震調査研究推進本部が発表した立川断層の長期評価により想定している地震動（M7.3・震度6程度、今後30年で発生確率2%）で建築設計を再評価しても、問題がないことを確認。



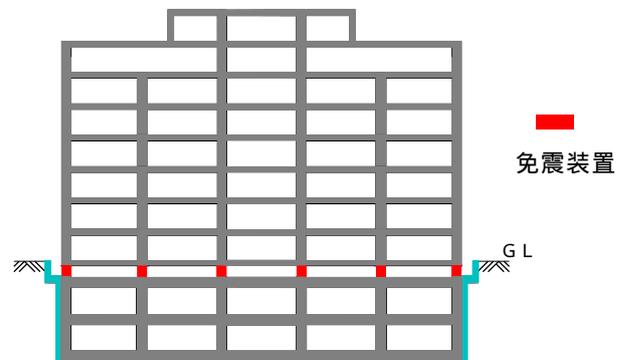
天然ゴム系積層ゴム



鉛プラグ入積層ゴム



地震時の変形



建物断面図

以上